

NO.	プログラムの名称など	記入責任者	参考文献名等
1	EUT	三宅	1) 柏木正, 杉本健, 上田武志, 山崎啓市, 東濱清, 木村校優, 山下力蔵, 伊東章雄, 溝上宗二: 波浪中推進性能解析システムの開発, 関西造船協会論文集, 第241号, 関西造船協会, pp.67-87, 平成16年3月. 2) 柏木正: 長波長域での船体運動の漸近値について, 関西造船協会論文集, 第242号, pp.45-51, 平成16年9月.
2	横揺れ減衰力係数推定(池田の方法)	三宅	1) 池田良穂, 姫野洋司, 田中紀男: 裸殻の横揺れ減衰力について, 日本造船学会論文集, 第142号, pp.59-69, 1977. 2) 池田良穂, 姫野洋司, 田中紀男: 前進時の横揺れ減衰力成分について, 日本造船学会論文集, 第143号, pp.121-133, 1978. 3) SR161研究部会: 船舶の横揺れ減衰力及び波浪中船速低下に関する研究, 社団法人日本造船研究協会, 日本造船研究協会報告, 第90号, pp.54-85, 1979. 4) 片山徹, 吉田尚史, 山本裕介, 柏木正, 池田良穂: 横揺れ減衰力造渦成分の回転中心高さと浅喫水影響, 池田の方法の造渦成分推定式の訂正と改良一, 日本船舶海洋工学会講演会論文集, 第33号, pp.187-190, 令和3年11月. 5) 池田良穂, 梅田直哉, 慎燦益, 内藤林: 船舶海洋工学シリーズ⑤・船体運動 耐航性能初級編: 第4章 横揺れ, 成山堂書店, pp.107-127, 平成25年6月.
3	横揺れ減衰力係数推定(藤井高橋の方法)	三宅	1) 藤井齊, 高橋雄: 斜め波中における船体運動、変動水圧の計算法に対する実験的検証、西部造船会会報、第49号、pp.1-16、昭和49年。 2) 渡辺恵弘, 井上正祐: 船の横揺抵抗所謂Nの計算方法について, 西部造船会会報、第14号, pp.39-48, 1957. 3) 関西造船協会編: 7.1.3(4) 横揺減衰係数及び減減係数の推定法, 造船設計便覧 第4版, 関西造船協会, pp.415-416, 1983. 4) 元良誠三監修: 改訂版船体と海洋構造物の運動学, 第Ⅱ章波浪中船体運動, 成山堂書店, pp.79-87, 平成9年3月. 5) 柏木正, 岩下英嗣: 船舶海洋工学シリーズ④・船体運動 耐航性能編: 第7章 船の横揺れと安定性, 成山堂書店, pp.222-224, 平成24年10月.
4	プロペラ負荷変動(プロペラ流入流速変動)計算	三宅	1) 中村彰一, 内藤林, 井上隆一: 波浪中におけるプロペラ単独特性と負荷変動について, 関西造船協会誌159号, 1975, pp.41~50.

5	短期予測	三宅	<p>1) 福田淳一:Ⅲ. 船体応答の統計的予測、第一回耐航性シンポジウム、日本造船学会、pp.99-119、昭和44年.</p> <p>2) 丸尾孟:波浪中の船体抵抗増加に関する研究(第2報 抵抗増加の本質について)、造船協会論文集、第108号、pp.5~13、1960.</p> <p>3) 中村彰一:Ⅳ. 耐航性の諸要素、第一回耐航性シンポジウム、日本造船学会、pp.121-141、昭和44年.</p> <p>4) SR208研究部会:速力試運転時の波浪影響修正法に関する研究、成果報告書、研究資料 No.398、社団法人日本造船研究協会、pp.25-26、平成5年3月.</p> <p>5) IACS: Standard Wave Data, IACS Recommendation No.34 Rev.2, 2022.</p> <p>6) 池田良穂, 梅田直哉, 慎燦益, 内藤林:船舶海洋工学シリーズ⑤・船体運動 耐航性能初級編:第6章 船舶性能の統計的予測、成山堂書店、pp.175-188、平成25年6月.</p>
6	船体応答発生確率計算	三宅	<p>1) 福田淳一:Ⅲ. 船体応答の統計的予測、第一回耐航性シンポジウム、日本造船学会、pp.99-119、昭和44年.</p> <p>2) 田口賢士、藤原出、室津義定、細田龍介共訳、確率過程工学<基礎と応用>、共立出版、pp.233-243、昭和55年.</p> <p>3) 中村彰一:Ⅳ. 耐航性の諸要素、第一回耐航性シンポジウム、日本造船学会、pp.121-141、昭和44年.</p> <p>4) 柏木正, 岩下英嗣:船舶海洋工学シリーズ④・船体運動 耐航性能編:第8章 不規則波中の船体応答、成山堂書店、pp.275-276、平成24年10月.</p>
7	長期予測	三宅	<p>1) 福田淳一:Ⅲ. 船体応答の統計的予測、第一回耐航性シンポジウム、日本造船学会、pp.99-119、昭和44年.</p> <p>2) N. Hogben, N.M.C. Dacunha, G.F. Olliver: Global wave statistics, British Maritime Technology, 1986.</p> <p>3) Heinrich Soding, Global Seaway Statistics, TU Hamburg-Harburg.</p> <p>4) IACS: Standard Wave Data, IACS Recommendation No.34 Rev.2, 2022.</p> <p>5) SR163研究部会:船舶の波浪中応答に関する調査研究、日本造船研究協会報告、第97号、pp.39-66、(社)日本造船研究協会、昭和56年.</p> <p>6) SR163研究部会:気象海象および船舶の波浪中応答に関する統計解析ならびに実船計測報告書、日本造船研究協会研究資料、No.277号、pp.109、(社)日本造船研究協会、昭和52年.</p> <p>7) 池田良穂, 梅田直哉, 慎燦益, 内藤林:船舶海洋工学シリーズ⑤・船体運動 耐航性能初級編:第6章 船舶性能の統計的予測、成山堂書店、pp.188-195、平成25年6月.</p>
8	馬力増加計算	三宅	<p>1) 内藤林、三宅成司郎、実海域における馬力増加推定法、日本船舶海洋工学会論文集、第6号、平成19年6月、pp.215-223.</p> <p>2) 新谷厚、内藤林、第4章波浪中の馬力増加、第2回耐航性に関するシンポジウム、日本造船学会、昭和55年、pp.165~180.</p>

9	斜航角・舵角推定	三宅	<p>1) 芳村康男: 船の操縦性能テキスト(RIOS 用ver.4.1)、RIOS講義資料、2012年7月16日(平成24年7月16日)、pp.34-46.</p> <p>2) 貴島勝郎, 名切恭昭: 船尾形状を考慮した操縦流体力の近似的表現, 西部造船会会報, 第98号、pp.67-77、平成11年5月.</p> <p>3) 安川宏紀, 芳村康男: 船舶海洋工学シリーズ③・船体運動 操縦性能編: 第7章 風圧下における操縦性能, 成山堂書店, pp.93-107, 平成24年10月.</p> <p>4) 安川宏紀, 芳村康男: 船舶海洋工学シリーズ③・船体運動 操縦性能編: 第2章 船に作用する力とモーメント, 成山堂書店, pp.13-29, 平成24年10月.</p>
10	船速低下計算	三宅	<p>1) 内藤林、三宅成司郎、実海域における馬力増加推定法、日本船舶海洋工学会論文集、第6号、平成19年6月、pp.215-223.</p> <p>2) 内藤林、菅信、第5章 船速低下の推定法、波浪中推進性能と波浪荷重、日本造船学会、昭和59年12月、pp.81~100.</p> <p>3) 造船テキスト研究会、商船設計の基礎(上巻)、成山堂書店、昭和54年、p.268~272、p.308~309.</p> <p>4) 中村彰一、内藤林、波浪中における船速低下および推進性能について、関西造船協会誌、166号、1977、pp.25~34.</p> <p>5) 内藤林:「実海域における船の推進性能」シンポジウム第5章「波浪中の推進性能」、日本造船学会、1995、pp.113~128.</p> <p>6) SR208研究部会: 速力試運転時の波浪影響修正法に関する研究、成果報告書、研究資料No.398、社団法人日本造船研究協会、pp.21-28、平成5年3月.</p>
11	実海域船舶性能シミュレーション	箕浦	<p>1) Munehiko Minoura, Naoki Yokotani (2022), "The Impact of Added Resistance of Short Wavelength Region on Fuel Consumption", Proc. of the 32nd International Ocean and Polar Engineering Conference (ISOPE2022), pp. 3400-3407.</p> <p>2) Tsujimoto, M., Kuroda, M., Sogihara, N. (2013), "Development of a Calculation Method for Fuel Consumption of Ships in Actual Seas with Performance Evaluation", Proc. of the ASNE 2013 32nd International Conference on Ocean, Offshore and Arctic Engineering (OMAE2013), 11297.</p> <p>3) Reint Dallinga, Ed van Daalen, Rob Grin, Ton Willemstein (2004), "Scenario Simulations in Design for Service", Proc. of the 9th Symposium on Practical Design of Ships and Other Floating Structures (PRADS2004), Vol. 2, pp.604-611.</p>
12	波浪衝撃荷重推定	三宅	<p>1) 木原一: 水面衝撃に関する境界要素解析法, 日本船舶海洋工学会論文集 第15号、pp.55-65、2012年6月.</p> <p>2) 木原一, 末吉誠: 船首正面衝撃に関する数値シミュレーション, 日本船舶海洋工学会論文集 第15号、pp.67-77、2012年6月.</p> <p>3) 木原一: 衝撃圧計算プログラムWISMOについて, RIOS資料, 2010.</p>

13	推進性能汚損経年影響推定	三宅	<p>1) 宮本雅史、実海域中推進性能の推定と評価－汚損・経年影響の推定法－、日本船舶海洋工学会論文集 第4号、pp.193-201、平成18年12月。</p> <p>2) 宮本雅史、実海域中推進性能の推定と評価－汚損・経年、海象影響の検証と評価－、日本船舶海洋工学会論文集 第6号、pp.205-214、平成19年12月。</p>
14	船体風圧力係数推定	三宅	<p>1) 藤原敏文、二村正、上野道雄：船体に働く風圧力の推定、日本造船学会論文集、第183号、pp.77-90、1998。</p> <p>2) 藤原敏文、上野道雄、池田良穂：成分分離モデルを利用した新しい風圧力推定法、日本船舶海洋工学会論文集、第2号、pp.243-255、2005。</p> <p>3) 山野惟夫、斎藤泰夫：船体に働く風圧力の一推定法、関西造船協会誌、第228号、pp.91-100、1997。</p> <p>4) Isherwood, R.M.: Wind Resistance of Merchant Ships, the Royal Institution of Naval Architects, Vol.115, pp.327-338, 1972.</p>
15	船体応答時系列生成・統計解析	三宅	<p>1) 山内保文監修：船舶・海洋技術者のための不規則現象論：第4章 実船試験および水槽試験、海文堂、pp.263-310、昭和61年2月。</p> <p>2) 竹沢誠二、梶田悦司：第5章 実船試験結果と予測値の対応、第2回耐航性に関するシンポジウム、日本造船学会、pp.181-198、昭和55年。</p> <p>3) 山内保文：Ⅱ．海洋波中の応答、第一回耐航性シンポジウム、日本造船学会、pp.53-97、昭和44年。</p>
16	船体応答極値統計解析	三宅	<p>1) 福田淳一：Ⅲ．船体応答の統計的予測、第一回耐航性シンポジウム、日本造船学会、pp.99-119、昭和44年。</p> <p>2) 真能創、河辺寛：海洋波に対する応答の長期分布の理論的推定における想定海象について(第4報)、－北太平洋の海象－、日本造船学会論文集、第147号、pp.104-111、1980。</p> <p>3) 柏木正、岩下英嗣：船舶海洋工学シリーズ④・船体運動 耐航性能編：第8章 不規則波中の船体応答、成山堂書店、pp.277-279、平成24年10月。</p>